

Campus News

静岡理工科大学 広報誌 [キャンパスニュース]

2015

9

Vol.46

特集

- 合同企業セミナーの開催
- シニアのための開放講座の開講
- 高校生ものづくり・ことづくりプランコンテストの開催



真剣な眼差しで「心理学」を学ぶ受講者

本年度より、シニアのための開放講座を開講し、一般の55歳以上の受講者が、本学学生と机を並べ、講義を受けました。



静岡理工科大学

輝く未来へ
はばたく力を





学長挨拶

生き抜く力を育む

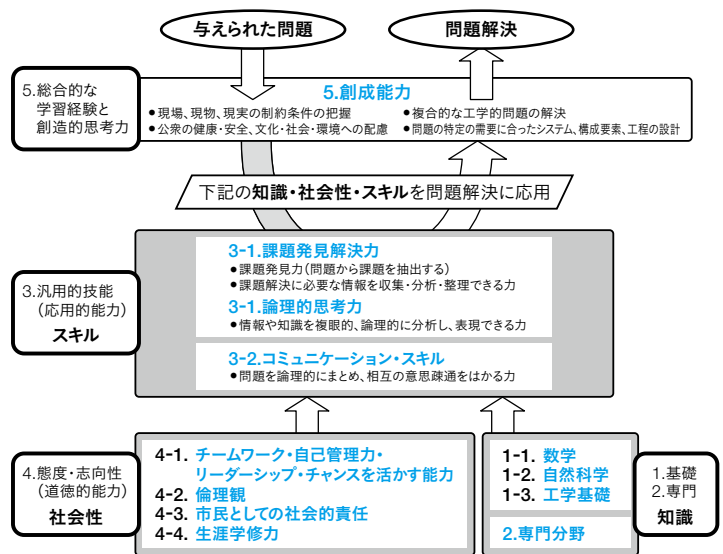
学長 野口 博

理工学は、最近では医学、薬学、農学、看護学等の各分野との連携が進み、文科系の学問との連携にまで広がり、「総合工学」や「社会工学」とも言われています。理工学が扱う分野も、ものづくりの原点のハードの分野から、ソフトの分野、さらには仕組み、企画や発想をも含むようになり、後者は革新的な技術開発に必須なものとなってきています。従って、社会における理工学には、「ものづくり」から「ことづくり」への転換の流れがあり、この流れの中で自主性を持って、変化する社会を生き抜き、活躍できる技術者の養成が求められてきています。

技術者教育において育成すべき知識・能力の相互関係を図1に示します。図1では、知識として、1.基礎、2.専門を学び、3.汎用的技能（スキル）として、課題発見解決力、論理的思考力、コミュニケーションスキルを身に付け、4.態度・志向性（社会性）として、チームワーク、自己管理能力、リーダーシップ、チャンスを活かす能力や倫理観、市民としての社会的責任、生涯学修力を身に付け、知識・スキル・社会性を、課題の解決に何度も応用して、初めて5.総合的な学習経験と創造的思考力が身に付いてくることを示しています。

本学でも、専門力としての知識と、スキルや社会性としての人間力（能力）をバランス良く学べ、生き抜く力を育む学習環境の整備を図っていきます。また、このスキルや社会性は、授業のみならず、課外活動としてのサークル活動などでも身に付けることが可能ですので、サークル活動などにもチャレンジして行ってほしいと思います。

図1 技術者教育において育成すべき知識・能力の相互関係
(平成22、23年度先導的の大学改革推進委託事業「技術者教育に関する分野別の到達目標の設定に関する調査研究」報告書より)



遠州灘

脚下照顧（履物の乱れは心の乱れ）。筆者が大好きな言葉です。寺巡りが趣味だった父に付き合わされて、様々なところに連れていかれましたが（子供心的には外食が目的でしたが…）、北陸出身の僕が唯一ずっと残っているのが福井県の曹洞宗大本山、永平寺で聞いたこの言葉でした。学生たちは入学から5ヶ月以上、また私も本学に赴任してきてから同じ期間を過ごしました。慣れも出てくるでしょう。これくらいはいいかという気持ちも出てくるでしょう。あるいは、前の生活からの乱れを引きずっていることもあるかもしれません。是非、一度家の玄関、足元を見ると良いのではないのでしょうか。今の自分の一番の指標となってくれます。学生たちにもしっかり足元を見て、日々を過ごして欲しく思っています。（新任教員M）



合同企業セミナーの開催について

3月10日・11日の2日間、本学の体育館で合同企業セミナーを開催しました。過去に本学の学生を採用していただいた企業を主とし、参加企業は189社で過去最高の参加社数となりました。

本年度から学生の就職活動が後ろ倒しとなり、今までの日程を1月下旬から3月上旬に変更しました。春休みに開催したため学事日程の配慮が不要となり、学生も大学側も支障なく開催することができました。



企業アンケートからは、本学の学生は積極的・熱心という感想と消極的・おとなしいという感想が半々で、これは例年と変わりませんでした。

本年度から1回の説明時間を25分で区切り、それを5回繰返すというターン制を実施しました。これは、学生がより多くの企業の方と話をする機会を設けるために行いました。ターン制は多くの企業には好評でしたが、一部企業からは学生との面談時間が短いなどの意見もいただきました。学生からのアンケートも概ね好評でした。アンケート結果を参考に来年への改善策を検討していきます。

名称を変更した理由は、多くの企業がSISTの意味を理解していただけるよう「SIST合同企業セミナー」を「静岡理科大学合同企業セミナー」に変更させていただきました。



シニアのための開放講座



本年度より、55歳以上の一般市民の方を対象に「シニアのための開放講座」を開講しました。これまでも一般市民が受講できる「公開講座」や「SIST体験型講座」など、1日限定の講座はいくつも開催してきました。本講座は、これまで開催してきた講座の受講者情報やそのアンケートより、「講座の受講者の約7割が50代以上のシニア世代であること」、「その受講者が継続した勉学の機会を欲していること」などが挙げられ、「50代以上のシニア世代は学ぶ意識が高く、機会を求めている」と捉え、地域貢献の一環として、開講する運びとなりました。



「心理学」「工業力学1」「コンピュータ入門」の3講座を開講し、袋井市、掛川市、磐田市から全21名（平均年齢：63歳）が受講しています。本講座は正規講義科目の一部を開放し、シニア世代の方と本学学生が机を並べ、共に学ぶ形式です。親子ほど、いや祖父母孫ほど年の離れ、普段交わることの少ない世代間が、同じ学び舎に集い、新たな学びを得る姿から何かを感じ取ることを、本講座に期待しています。

高校生ものづくり・ことづくりプラン コンテストの開催

平成27年3月21日、本学と浜松市が主催する、「高校生ものづくり・ことづくりプランコンテスト2014」の最終審査が浜松市内で開かれました。

本コンテストは、高校生が「こんなものがあればいい」、「こんなことをやってみたい」というアイデアを基にし、商品の立案から販売までを企画し、新商品のアイデアを競うもので、今回で2回目となります。

本コンテストには、県内外の14校から161件の応募があり、書類選考を通過した4テーマが最終審査へ進み、本学の教員や外部企業の方が務める審査委員へ商品やアイデアのプレゼンテーションを行いました。

最終審査の結果、浜松商業高校のグループが提案する「舞わないカーテン ポヌールヴァン ～幸福な風～」が最優秀賞を受賞しました。

このプランは、日常の高校生活を通じ、教室のカーテンが風に舞い、授業の邪魔になった経験から、カーテンの裁断を工夫することで「舞わない」カーテンを製作し、販路として「学校」をターゲットにしたビジネスプランでした。

その他、最終審査会へ進んだプランはどれも審査員の興味を引く内容でありました。



最優秀賞

●静岡県立 浜松商業高等学校

「舞わないカーテン ポヌールヴァン ～幸福な風～」



優秀賞

●静岡県立 富岳館高等学校

「地球温暖化から産地を守る～夏の高温化に対応した新たなエコ資材「AHXチップ」の開発」

特別賞

●栃木県立 栃木農業高等学校

「日本一早い桜祭り実行委員会～真冬の栃木をサクラで満開に～」

●石川県立 翠星高等学校

「栄養たっぷり 食卓に加賀丸いもを！」



〈受賞した4チームの生徒さん〉

公開シンポジウム

1月24日(土)、「メタンハイドレートは日本のエネルギー事情をどうかえる?」をテーマに平成26年度公開シンポジウムを開催しました。当日は、123名の参加者がありました。

経済産業省資源エネルギー庁資源・燃料部政策課企画官の高倉秀和氏による基調講演の後、「メタンハイドレートの現状と可能性」をテーマにパネルディスカッションを行い、参加者などから多くの質問が寄せられました。



記念植樹

3月6日(金)、卒業生代表が大学近くの愛野公園の道を挟んだ東側へ「クロガネモチ」を記念植樹しました。この植樹は、4年間お世話になった袋井市民へのお礼として卒業生から募った募金で一期生から毎年行われ、今回で21本目の植樹になりました。



卒業式

3月14日(土)、平成26年度卒業証書・学位記授与式を挙行し、理工学部、総合情報学部合わせて340名と大学院生12名が卒業しました。

卒業生を代表して総合情報学部コンピュータシステム学科の山田彰人さんが「静岡理科大学で得た知識と経験を活かし、創造力と積極性を持って社会と技術の発展に貢献したい」と力強く誓いました。



入学式

4月3日(金)、平成27年度入学式を挙行し、学部生、大学院生合わせて374名が入学しました。新生を代表して、総合情報学部の山本大地さんが「勉学に励み、様々なことに自発的に、そして真摯な姿勢で取り組み、学生生活が実りあるものとなるよう努力し続けます」と宣誓しました。



公開講座

第1回目を5月9日(土)、第2回目を6月20日(土)に開催しました。

第1回目は、『「地震」を知って、「地震」に備える』を共通テーマに、第1部は本学非常勤講師の狩野謙一氏が「直下型地震と活断層」と題し講演を行い、第2部は静岡大学理学部地球科学科講師の生田領野氏が「東海地震 プレート境界型地震研究の現状」と題し講演を行いました。

第2回目は、『色々な角度から“ノーベル賞”を知る』を共通テーマに、第1部は本学物質生命科学科教授の桐原正之が「歴史を変えた大発明」と題し講演を行い、第2部は国立研究開発法人科学技術振興機構研究プロジェクト推進部上席主任調査員の石田秋生氏が「青色LED開発からノーベル賞受賞まで」と題し講演を行いました。



チャレンジハイク

5月16日(土)、毎年恒例のチャレンジハイク(クラブ連合委員会主催)が開催されました。当日は小雨が降る中スタートをしましたが、大学→法多山→愛野公園→可睡斎→袋井市街→大学の約20kmに学生100名がチャレンジ、全員完歩しました。



総合防災訓練

5月22日(金)、本学にて教職員と学生による「総合防災訓練」を行いました。訓練には学生、教職員ら1,141名が参加し、避難訓練や煙体験訓練、グラウンドにて消火活動を実施しました。また、今年度は新たな試みとして、AED講習会も実施しました。





〚袋井発、 シェアハウスを…

袋井国際交流協会 会長
下山 好治さん

袋井市には970件を超す空き家があるとされています。老朽化した家屋が多い中からリフォームをして「シェアハウス」として活用することを提案します。

静岡理科大学で4年間を過ごす学生、取分け外国からの留学生にとって、どこで、誰と住むかは、大変重要な課題です。マンションやアパートで独立した生活をするより、戸建ての住宅で共同生活をおくることで、沢山の得るものがあると考えます。

まさに今、国内外で増えつつある「シェアハウス」構想です。

世界の各国から集まった学生が、寝食を共にし、国の違い・文化の違いを語り、地域の市民と交流することで地域文化に触れ、また、学生たちが、あらゆる分野の話題について議論する場は、国際感覚を醸成するうえで貴重な学びの場でもあります。

産・官・学共同で、「袋井発シェアハウス」を考察することは大変意義深いことだと考えます。実現を目指して始動したいものです。



地域と関わり、 地域学の勉強も大切です

豊沢ふれあい会館 館長
一瀬 努さん

私は、静岡理科大学の地元の豊沢地区の自治会役員をしていて、毎年4月に新入生生活ガイダンスが開催されて、地元の自治会長と一緒に地域のコミュニティ活動と生活についての話をさせて頂きました。生活上、現実に出てくるゴミの処理について、分別方法やゴミ出しルールとか、今までとは違った生活での事がこれからはありますよと、話をしました。そして皆さんがこれから生活して行く上で困った事が起きた時には、その地区の役員に是非相談して下さいと話し、地域の方々も常に学生さんには温かな目を向けていますよと励ましました。

その後、4年が過ぎ勉強と社会生活を両立させて立派に成長し、卒業され、自信に満ちあふれ社会人として旅立たれた事と思います。

今も学生さんと散歩の途中でお会いして、挨拶を交わしながら、成長して行く姿に頼もしさとして親しさを感じています。これからの日本の将来を背負って行かれる静岡理科大学の学生にエールを送り、いつまでもこの袋井市の豊沢の地を第二のふる里として思い出して何処に行かれても頑張してほしいと願っています。



ヤマハモーターエレクトロニクス株式会社
石川 貴也さん
(電気電子工学科第18期卒業生)

経験が、コミュニケーション能力の基礎となっています。

また、設計と生産の現場の距離が近い会社である為、自分で設計した試作品を生産現場で一緒に作ることもあります。お客様の要望に応えることも当然ながら、作り易い設計ということも大切であり、卒業研究や実験等で物に触れた経験が活きていると感じています。

今後は、ソフトウェア全体の設計とプロジェクト全体をまとめあげて推進していける様になりたいと考えています。

活躍する卒業生

私の勤務するヤマハモーターエレクトロニクス(株)は、ヤマハ発動機グループの電装品開発・製造会社でエンジン電装や電動車両の制御、モーター技術でグループを支えています。

今の私の仕事は、デジタルメータのソフトウェア設計とイモビライザーの設計です。

業務では、常に新しいことを理解する必要があり、在学中に学んだ、C言語、電子回路等の知識が基礎となり、理解の助けになっています。

1つの製品の開発には、お客様や社内の関係部署、部品のサプライヤ・メーカ等、多くの人が関わります。その為、コミュニケーションを積極的に取るのが大切だと思います。大学時代に、部活で部長をさせて頂き、学内外の人達と連絡を取り、日程調整を行った

授業の紹介



機械工学科航空工学コースでは、
本学の「やまいか教育」に基づ
く、実体験を基にした実践的教育の
実現のため、「航空工学実地演習」
という授業を実施しています。この
授業では、ヘリコプターの体験搭乗
や、軽飛行機の実機に触れながら機
体の構造や仕組みを学んだり、実際

のエアラインのパイロット訓練に用いられる実物のフライトシミュレーターの体験など、他では体験できないような貴重な機会が設けられています。また、航空機の製造や整備に使われる技能の体験演習や、空港での地上取扱業務についての学習、小型ジェットエンジンの分解・組立を行ってエンジン内部の構造と仕組みを実体験しながら学ぶなど、幅広い体験を通じ航空関連技術の理解を深めています。授業を受けた学生にも体験飛行は特に好評で、また実際に航空機の操縦や整備などに携わっている外部講師の方と触れ合えて、以降に学ぶ航空関連専門科目への勉学のモチベーションの向上に役立っています。



担当教員：機械工学科 准教授 花田 佳彦

人間情報デザイン学科 秋山研究室

おじゃまします。

「人はなぜそう思うのか」を、社会環境との関わりにおいて実証的に解明することが、この研究室の基本です。集団・社会にみられる人間の意識・行動の生成を把握するため、質問紙調査の企画・設計・実施を経て、得られたデータを統計的に分析し、社会環境から影響され、そして社会環境に影響を与える意識・行動の仕組みを考察していきます。その際、客観的・科学的な方法を重視しています。この過程をとおして、学生たちは調査と分析の方法を身につけるので、卒業後はマーケティングや企画・立案に活用することを期待しています。卒業研究では、若者の意識・行動、特に情報社会で生み出される価値観と対人関係に注目しています。



研
究
室
訪
問

第
34
回

研究室学生からひとこと

鈴木 涼太 (人間情報デザイン学科4年)

秋山研究室では大学生を対象とした本格的なアンケートを行っています。研究テーマの選定と調査票の作成は、研究室所属の卒研生全員でいろいろ意見を出し、楽しく議論しながら進めていきます。このとき卒研生どうしが一段と親しくなります。先生はその場において議論を方向づけてくださいます。回答データを統計解析してから、その結果をどうみるかという難問も、先生からヒントをもらうので、人間を深く考えるよい機会になります。

秋山 憲治先生のプロフィール

千葉県出身。博士(人間科学)。早稲田大学および早稲田大学大学院で学びました。早稲田大学で助手を務めた後、静岡理工科大学開学時に本学に赴任しました。赴任後10年間は一般・基礎教育部門に所属していました。社会学、特に職業・労働社会学を専攻し、それに関連づけて生活構造、ジェンダー、高齢社会、ポスト産業社会も研究してきました。現在は、職業という形の労働が社会に成立した経緯と仕組みを研究テーマにしています。

人事異動

●平成27年4月1日付採用



理工学部機械工学科 教授 **増田 和三**

専門分野 宇宙航空機の誘導制御、宇宙航空機の飛行力学
略歴 名古屋大学工学部航空工学専攻修士修了、Massachusetts Institute of Technology, Aeronautics & Astronautics, Master of Science、三菱重工株式会社を経て本学教授に就任。

趣味 スポーツ(テニス、サッカー、ジョギング)、落語鑑賞



理工学部電気電子工学科 講師 **本井 幸介**

専門分野 生体医工学、生体情報計測制御、健康支援工学

略歴 金沢大学大学院自然科学研究科システム創成科学専攻博士後期課程修了。弘前大学大学院理工学研究科助教を経て本学講師に就任。

趣味 音楽鑑賞、旅行、麺打ち



理工学部物質生命科学科 准教授 **宮地 竜郎**

専門分野 食品衛生学、食品微生物学、食品保蔵学
略歴 千葉大学大学院自然科学研究科生産科学専攻(博士課程)単位取得満期退学。東京農業大学生物産業学部食品科学科准教授を経て本学准教授に就任。

趣味 犬と遊ぶ事、スキー、養蜂、読書



総合情報学部コンピュータシステム学科 准教授 **水野 信也**

専門分野 数理モデル、最適化、クラウドコンピューティング、学術情報基盤構築

略歴 静岡大学大学院理工学研究科システム科学専攻後期博士課程修了。学校法人静岡理工科大学専門学校部門教諭を経て本学准教授に就任。

趣味 オーケストラ

役職者紹介

●平成27年4月1日現在

大学評議員

学長	野口 博	電気電子工学科長	土肥 稔(教授)
理工学部長	小澤 哲夫(教授)	物質生命科学科長	小林久理真(教授)
総合情報学部長	秋山 憲治(教授)	コンピュータシステム学科長	金久保正明(教授)
学生部長	富田 寿人(教授)	人間情報デザイン学科長	大相 弘順(教授)
附属図書館長	小川 敏夫(教授)	理工学研究科運営委員長	桐原 正之(教授)
機械工学科長	十朱 寧(教授)		

YES長兼 やらまいか創造工学センター長	高橋 久(教授)
工作センター長	土屋 高志(教授)
先端機器分析センター長	吉田 豊(教授)
情報センター長	工藤 司(教授)
教育開発センター長	感本 広文(教授)
国際交流センター長	十朱 寧(教授)

※YES：やらまいかエディケーションサイト

平成27年度優秀賞表彰

5月26日(火)、1年間の学業成績が優秀であり、人物面においても本学学生として模範である学生に贈られる「静岡理工科大学優秀賞」の表彰式を行いました。受賞者30名に学長より表彰状と副賞が授与されました。受賞者は次の通りです。

機械工学科 2年生 WU DONGLIANG 森川 征磨 3年生 新井 大奇 内野 翔太 4年生 井出 優輝 吉林 達弥	電気電子工学科 2年生 佐々木旺李 鈴木 芳典 3年生 鈴木 穰 村田晋士郎 4年生 平岩 健一	物質生命科学科 2年生 池田 恵里 三上 友子 3年生 足立 滉太 石原 尚拓 4年生 村松 和哉 市川 亮太	コンピュータシステム学科 3年生 鈴木 光希 松本 直也 4年生 市川 翔大 台 翔太	人間情報デザイン学科 2年生 田上 翔平 檜橋 璃歩 川中 天馬 糸川 枢司 3年生 境 啓介 伊藤 祐輝	4年生 松村 海人 長澤 貴志 理工学研究科 システム工学専攻 1年生 板羽 嶺
--	---	---	--	--	--

同窓会

だより

同窓会設立20周年記念総会「20周年を祝う会」開催報告

静岡理工科大学同窓会は、今年で設立20周年を迎え、平成27年7月25日(土) ホテルクラウンパレス浜松にて「20周年を祝う会」を開催しました。当日は、卒業生及びそのご家族、教職員など約200名の方が参加され、第1部の記念講演では、元宮崎県知事の東国原英夫氏から「たけし軍団から政治家を目指して」と題してご講演いただき、第2部では、記念パーティーを行い、旧友と懇親を深める有意義な時間を過ごすことができました。

ホームカミングデーの開催

今年も、本学にてホームカミングデーを開催します。第15回目の開催を迎えるホームカミングデーでは、コミュニケーションゲームや豪華商品が当たる大抽選会を企画しています。同窓会員の皆さんのご参加をお待ちしています。

◆日時：平成27年11月1日(日) 11:00~12:30<大学祭2日目> ◆会場：本学食堂(体育厚生棟1階) ◆参加料：無料

後援会

だより

父母懇談会の開催

◆日時：平成27年10月31日(土)<大学祭1日目> ◆会場：本学300講義室(学生ホール3階)

父母懇談会では、午前に全体会と学科別懇談会、午後個別面談(希望者のみ)を開催します。なお、詳細なご案内は9月にお送りする成績表に同封させていただきます。

入試広報 NEWS

来て！見て！静岡理科大学

夏から秋へと彩りが変わる季節。自然豊かな小笠山の麓まで足を運んでみましょう！

■秋の進路イベントで静岡理科大学をCheckしましょう！

思い立ったら即行動！皆さんの興味・関心・好奇心をくすぐる素材を静岡理科大学で見つけてみませんか？今年オープンキャンパスを9月にも開催。受験生はいよいよ大詰め進路選択のために、下級生は今後の進路研究の一助として、本学に訪れてみませんか？研究室の見学や模擬講義体験を中心に、静岡理科大学のスゴイを体感しましょう。

また、祝日開催の「Weekday大学見学会」では、静岡理科大学の普段の授業や研究の様子など、学生が生き生きと取り組む姿をご覧いただくことができます。

～進路イベント日程～

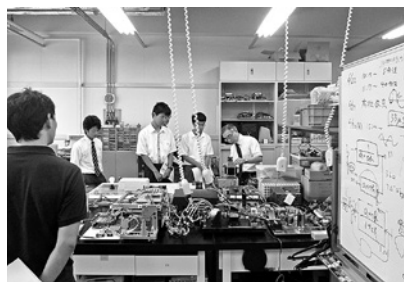
●オープンキャンパス 9/13(日) 開催時間10:00-16:00

模擬講義、研究室見学・体験、学科紹介ツアー、学食体験、保護者説明会、入試要項配布、過去問題配布など

●Weekday大学見学会 10/12(祝)、11/23(祝) 開催時間13:00-16:00

授業見学、研究室見学、入試説明会、保護者説明会、個別相談など

*詳細や参加申し込みは、本学受験生サイト(<http://www.sist.ac.jp/navi/index.html>)からどうぞ！



■新しくなった理工科大の「給費型奨学生制度」

学費の負担を大幅に軽減できる「給費型奨学生制度」。家族にもうれしいサポート制度で、夢や目標に向かって真っ直ぐ！より多くの方々に行き渡る制度に生まれ変わりました。対象入試の結果によって以下の4種から奨学生の権利を得ることができます。

- 「授業料サポート100」 年間授業料100万円給費(4年間で最大400万円給費)
- 「授業料サポート50」 年間授業料50万円給費(4年間で最大200万円給費)
- 「入学金サポート」 入学金30万円給費(入学手続時)
- 「入学応援給費」 入学応援金10万円給費(入学手続時)

詳細は本学受験生サイト内、「給費型奨学生制度のご案内」(<http://www.sist.ac.jp/navi/ship2015/index.html>)をご覧ください。

2016年度生 入試日程 *詳細は本学受験生サイト、入試要項でご確認ください。

入試種別	試験日	合否通知日
指定校推薦入試	11月14日(土)	11月20日(金)
公募制一般推薦入試・公募制自己推薦入試		
専門高校・総合学科特別奨学生入試		
特待生推薦入試	12月19日(土)	12月25日(金)
一般前期(A)入試・(B)入試	2月3日(水)・4日(木)・5日(金)	2月13日(土)
一般後期入試	3月3日(木)	3月11日(金)
前期センター試験利用(A)入試・(B)入試	本学独自の個別試験なし	2月13日(土)
中期センター試験利用(A)入試・(B)入試	本学独自の個別試験なし	3月11日(金)
後期センター試験利用(A)入試・(B)入試	本学独自の個別試験なし	3月23日(水)

平成27年度後期 学年暦(学部・大学院)

後期ガイダンス	9月25日(金)	後期追・再試験対象者発表	2月9日(火)
後期授業開始	9月28日(月)	後期追・再試験期間	2月15日(月)～2月19日(金)
大学祭	10月31日(土)・11月1日(日)	春期休業	2月2日(火)～3月31日(火)
冬期休業	12月27日(日)～1月3日(日)	卒業式・修了式	3月12日(土)
後期定期試験	1月26日(火)～2月1日(月)		

サークル紹介

マジック同好会

部長 糸川 枢司 (人間情報デザイン学科2年)

マジック同好会は、勉強もマジックも頑張ろう！という意識を持ちながら活動している部員数38名の団体です。週に2日集まり、マジックの練習や発表、勉強会などを行っています。今年で設立2年目に入り、新たな部員を迎えることもできました。本学での様々な行事に積極的に参加し、また、地域の方に楽しんでいただくための課外活動も行っております。昨年は、袋井市内の老人ホームや児童所を訪問し、マジックを披露しました。部員の殆どがマジック初心者のため、失敗は沢山あります。それでも、見ていただく方の驚いた顔や楽しそうな顔を想像しながら練習を重ね、計画を立てております。活動を通して、様々な場面で必要とされる発表のスキルや、何かを成し遂げるために努力し、計画を立てるスキルも少しずつ身に付けています。

少しでもマジックに興味があり、活動を行ってみたいと感じたら是非、参加してみませんか？



スポットライト
がんばれ！理工科大生



HU DE
理工学研究科 材料科学専攻2年
(中国江蘇省出身)

私は大学に入ってから、自分が強くなって、成長してきたと感じています。

最初研修生として大学にいた半年間、志村先生の授業を聞かせて頂きました。先生の話が全然分かりませんでした。スクリーンを見て予想しながら聞き続けました。また、先生の英語授業の宿題もやりました。日本語が全然分からないのに、英語を日本語に翻訳するのは絶対に無理だと思いましたが、英中日辞書で調べながら、どれだけ時間がかかっても頑張っていました。書いた日本語は全然正しくありませんでしたが、自分は達成感を感じて、凄く嬉しかったです。先生のお蔭で、半年を経て、私の日本語が沢山進歩しました。

大学院一年の時、日本語が早く上手になるため、私は沢山の授業を受けました。しかし、多くの授業はただ聞き取るだけではなく、レポートや発表、英語翻訳もあります。また無力感を感じましたが、頑張ればきっとできると思って乗り越えました。日本人の院生よりうまくできませんでしたが、自分の最善を尽くしました。

この大学に来て、自分は敵として自分に勝てば、より良い自分になれるということ学びました。学校の皆さん、いつも優しくしてくださり、本当にありがとうございます。

編集後記

本学では公開講座やシンポジウム等を、一般の方に向けて開講しています。今年はシニアのための開放講座を開講し、多くの方にご参加頂きました。それだけ「学び」が楽しいと思える方が多いのだと思います。楽しさから来る動機ほど強いものではありません。我々も自分の専門分野だけでなく、多くのことを学ぶ必要がありますね。(K)

静岡理工科大学キャンパスニュース

平成 27 年 9 月 1 日発行

企画・編集・発行／静岡理工科大学 大学広報委員会

〒 437-8555 静岡県袋井市豊沢 2200-2

TEL.0538-45-0111 FAX.0538-45-0110

http://www.sist.ac.jp E-mail:c-news@ob.sist.ac.jp

